

令和2年7月27日

トルコご担当者各位

『アヤソフィア』のモスクへの変更に関しまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて先日の最高裁判所による決定および大統領宣言の通り、7月24日（金）よりイスタンブール旧市街の世界遺産『アヤソフィア』のモスクとしての利用が開始されました。

現地スタッフが状況確認のため、「アヤソフィア」を視察しましたのでご報告申し上げます。

この件についての国民の関心は非常に高く、この週末は多くの信者が訪れ、セキュリティを強化していることもあって入場には3～4時間の時間がかかったとのこと（状況が落ち着けば混雑は解消される模様です）。今まで出口として使用されていた南側のゲートが入口として使用され、北側が出口になっているとのことでしたがこれは固定ではなく、今後礼拝者の数が正常化した際に再度検討されるとのことでした。



また他のモスク同様、見学時には（男女とも）短パンやノースリーブなどの露出の高い服装を避け靴を脱ぐ必要があります。女性はスカーフ等で髪を覆うことが義務付けられます。これまで「アヤソフィア」は月曜日が休館日でしたが、今後は1日5回の礼拝の時間を除いて毎日見学が可能となります。



尚、内部には巨大な緑色の絨毯が敷かれ、扱いが懸念されていたキリスト教のモザイク画は白い布地で覆われています。今後についてはモザイク画を今まで通り見学できるように、礼拝時のみ自動で開じるカーテンのようなシステムを使用することが検討されているとのことでした。



以上、取り急ぎ現状をご報告申し上げます。

株式会社ニューミレニアム